



CDPサプライチェーンエンゲージメント ウェビナー

サプライヤーとの協働で実現するビジネス機会

2025年10月28日

A solid red triangle is located in the bottom-left corner of the slide.

アジェンダ

1. ビジネスにおける情報開示の重要性
2. CDPサプライチェーンメンバーシップの仕組み
3. CDPサプライチェーンメンバーシップの活用
4. Q&A

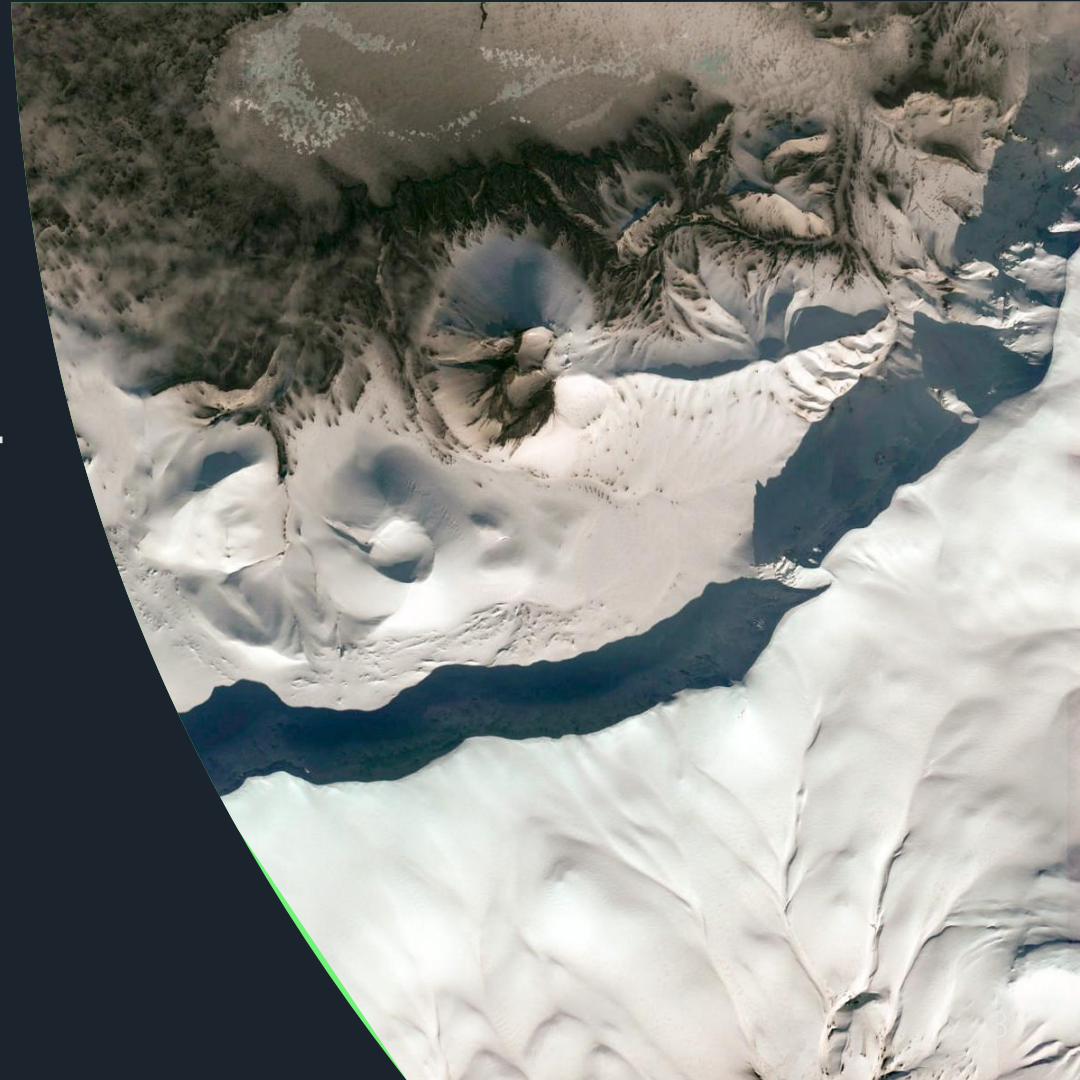
※本イベントの無断録画・録音・掲載は禁止しております。

※本イベントは録画されており、後日CDPウェブサイトにて、資料とともに公開予定です。(ご参加の皆様には本日中に資料をお送りいたします)



※ウェビナー中にご質問がおありの場合は、Q&Aボックスよりご入力ください。事前にいただいたご質問と併せて、可能な限り、Q&Aセッションにてお答えいたします。

1. ビジネスにおける 情報開示の重要性



ビジネスにおける情報開示の必要性



資本へのアクセス

リスクと機会の定量化

2024年、**700**を超える投資家が、CDPを通じた情報開示をポートフォリオ上の企業に対して要請



ビジネスの競争力強化と購買企業へのアクセス

調達との関係構築

2022年、CDPサプライチェーン・メンバーは**7,000**万トンの排出削減イニシアチブを推進



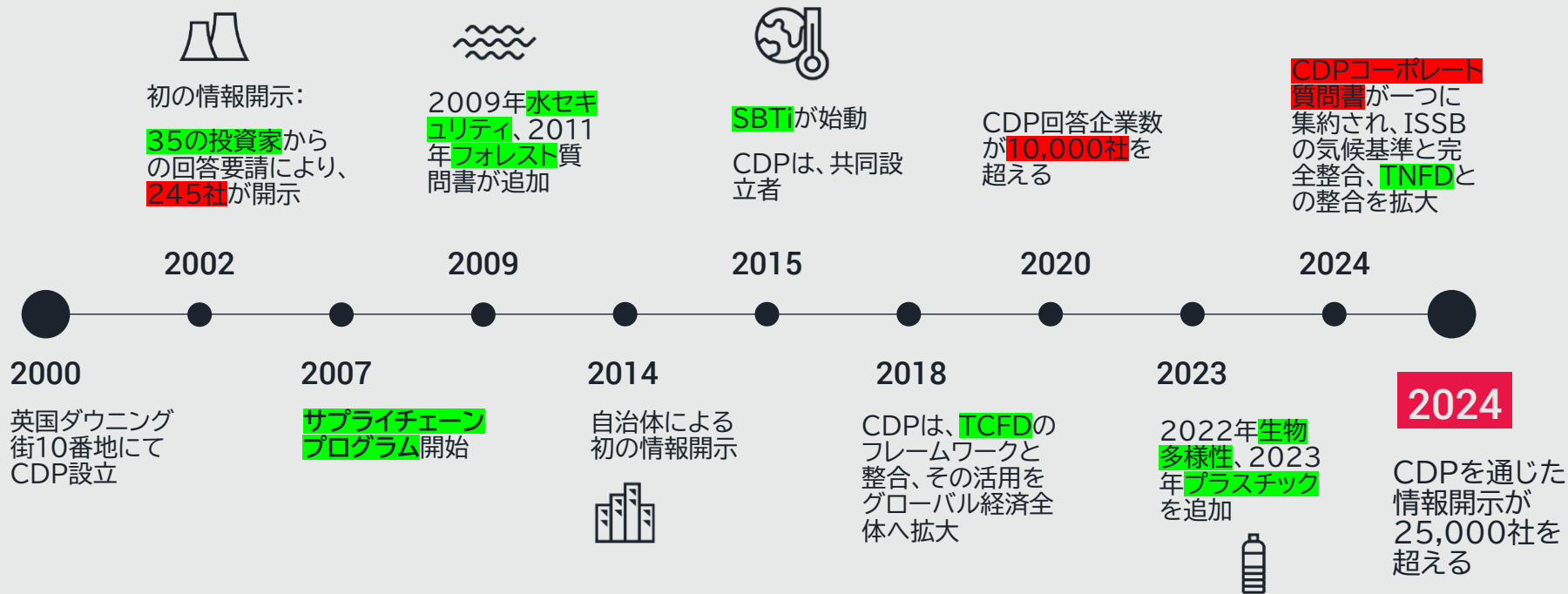
コンプライアンス

義務に基づくまたは自主的な開示

CDPの情報開示プラットフォームでは、必要情報との整合性を常に更新



25年わたり、環境データ開示から行動を促す最前線に



世界の重要な開示基準との整合

CDPは、基準を企業が活用できる実用的な形に変換します。質問やデータポイントを設定し、それに回答および対応することにより、高品質なデータを1つのデータセットとしてステークホルダーや市場と共有します。

これまでに整合



2024年よりS2と整合



部分的に整合。技術的な整合を継続中



“Write once,
read and use
many”

“One stop shop”

整合性の推進



CDP質問書およびESRS E1間には大きな整合性があります。公式なパートナーシップを通じてさらなる整合を検討しています。



TNFD開示推奨事項との部分的な整合性を実現し、全面的な整合に向けて取り組んでいます。



CDP質問書とTNFDフレームワークの整合

ガバナンス	戦略	リスクとインパクトの管理	測定指標とターゲット
<p>自然関連の依存、インパクト、リスクと機会の組織によるガバナンスの開示。</p>	<p>自然関連の依存、インパクト、リスクと機会が、組織のビジネスモデル、戦略、財務計画に与えるインパクトについて、そのような情報が重要である場合は開示する。</p>	<p>組織が自然関連の依存、インパクト、リスクと機会を特定し、評価し、優先順位付けし、監視するために使用しているプロセスを説明する。</p>	<p>マテリアルな自然関連の依存、インパクト、リスクと機会を評価し、管理するために使用している測定指標とターゲットを開示する。</p>
<p>開示提言</p> <p>A. 自然関連の依存、インパクト、リスクと機会に関する取締役会の監督について説明する。</p> <p>B. 自然関連の依存、インパクト、リスクと機会の評価と管理における経営者の役割について説明する。</p> <p>C. 自然関連の依存、インパクト、リスクと機会に対する組織の評価と対応において、先住民、地域社会、影響を受けるステークホルダー、その他のステークホルダーに関する組織の人権方針とエンゲージメント活動、および取締役会と経営陣による監督について説明する。</p>	<p>A. 組織が特定した自然関連の依存、インパクト、リスクと機会を短期、中期、長期ごとに説明する。</p> <p>B. 自然関連の依存、インパクト、リスクと機会が、組織のビジネスモデル、バリューチェーン、戦略、財務計画に与えたインパクト、および移行計画や分析について説明する。</p> <p>C. 自然関連のリスクと機会に対する組織の戦略のレジリエンスについて、さまざまなシナリオを考慮して説明する。</p> <p>D. 組織の直接操作において、および可能な場合は上流と下流のバリューチェーンにおいて、優先地域に関する基準を満たす資産および/または活動がある地域を開示する。</p>	<p>A(i) 直接操作における自然関連の依存、インパクト、リスクと機会を特定し、評価し、優先順位付けするための組織のプロセスを説明する。</p> <p>A(ii) 上流と下流のバリューチェーンにおける自然関連の依存、インパクト、リスクと機会を特定し、評価し、優先順位付けするための組織のプロセスを説明する。</p> <p>B. 自然関連の依存、インパクト、リスクと機会を管理するための組織のプロセスを説明する。</p> <p>C. 自然関連のリスクを特定、評価、優先順位付け、監視するためのプロセスが組織全体のリスク管理にどのように組み込まれているかについて説明する。</p>	<p>A. 組織が戦略およびリスク管理プロセスに沿って、マテリアルな自然関連リスクと機会を評価し、管理するために使用している測定指標を開示する。</p> <p>B. 自然に対する依存とインパクトを評価し、管理するために組織が使用している測定指標を開示する。</p> <p>C. 組織が自然関連の依存、インパクト、リスクと機会を管理するために使用しているターゲットと目標、それらと照合した組織のパフォーマンスを記載する。</p>

CDP質問書との整合レベル

- 完全な整合
- かなり整合
- 部分的な整合
- ほとんどまたは全く整合しない

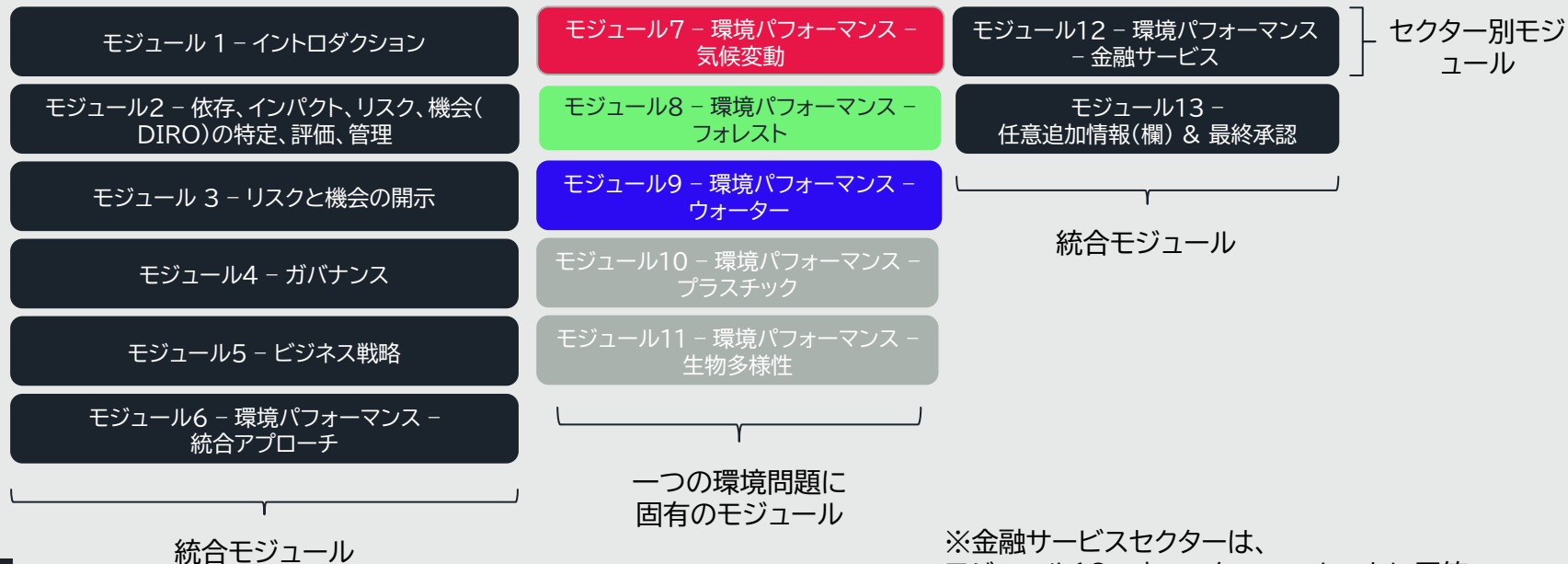
出典: [自然関連財務情報開示-タスクフォースの提言 2023.pdf \(tnfd.global\)](#)

[Correspondence between TNFD Disclosure](#)



CDPコーポレート完全版質問書

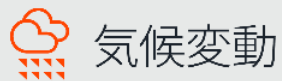
合理化された総合的なレポート



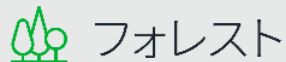
※金融サービスセクターは、
モジュール12でウォーター・フォレストに回答

ビジネスのリスク

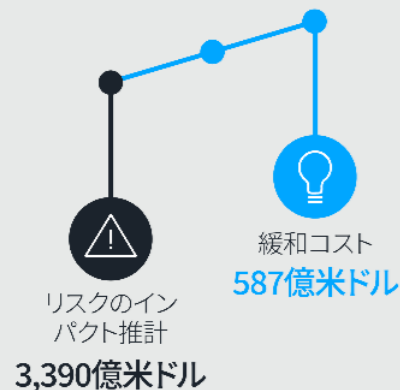
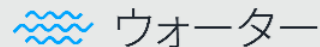
大企業と中小企業の67%が、実質的な財務的影響を伴う環境リスクを特定した。これらのリスクを軽減する行動は、ビジネス上理にかなっている。短期的な財務的影響は数兆ドル規模に達する一方、それらに対処するためのコストは劇的に低い。



報告企業数: 3,984



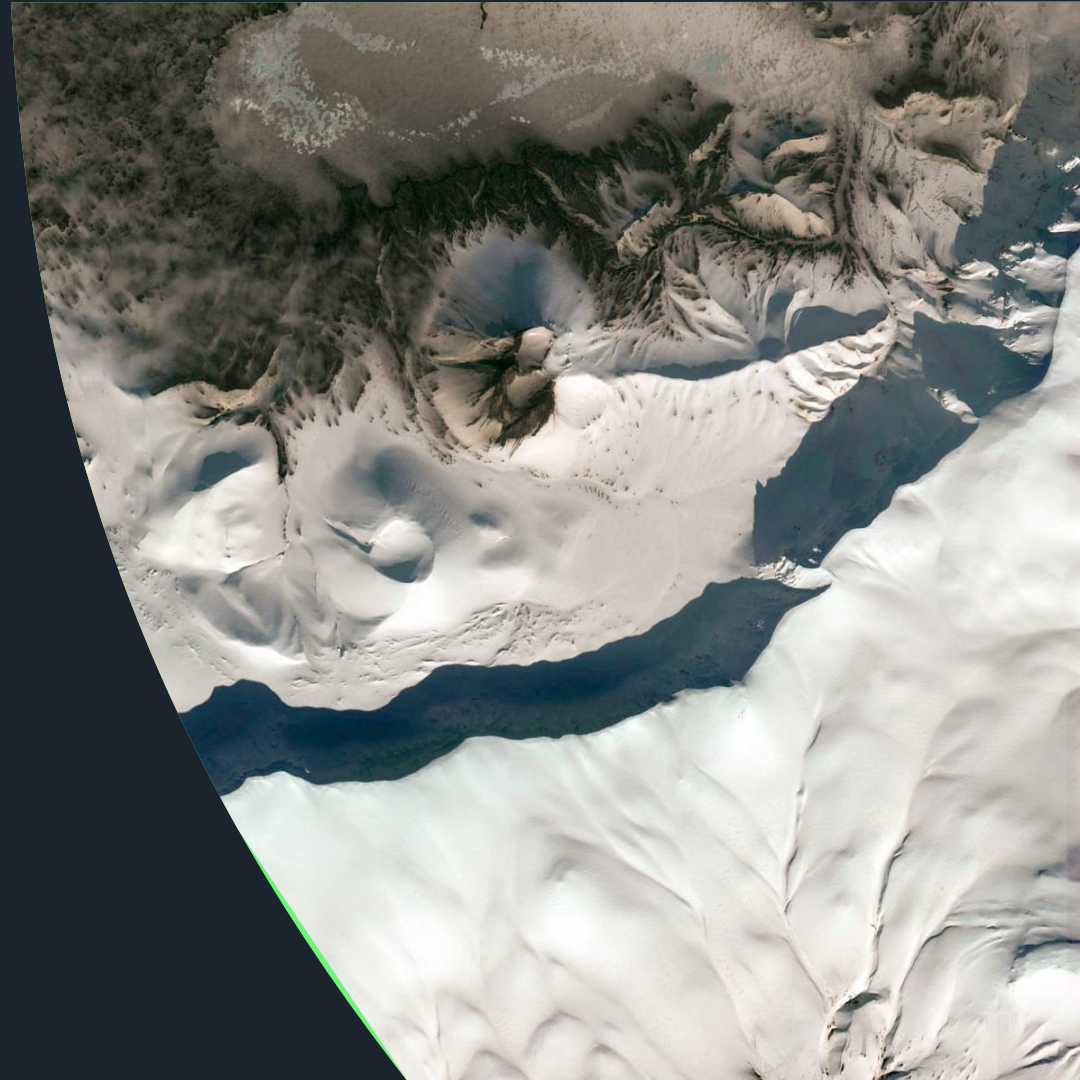
報告企業数: 348



報告企業数: 1,400



2. CDPサプライチェーン メンバーシップの 仕組み



CDPサプライチェーン・メンバーシップ

複数のステークホルダーとニーズに対する1回の対応



サプライチェーンメンバー

- 主要なサプライヤーを特定して回答を要請
- データを効率的に取得し、報告の負担を軽減
- 開示されたデータを分析し、サプライヤーの環境影響を測定し、進捗状況を追跡

サプライヤー

- 要請されたサプライヤーは質問書を通じて、定性情報および定量データを開示
- 提出後フィードバックを受領し、その結果を参考に次の対応策を強化

CDPサプライチェーンメンバーシップの強み



質の高い環境データへの
アクセス

2020年から2024年にかけて開示企業数が140%増加。スコープ3インベントリ作成から科学に基づく目標(SBT)の調達プロセス統合まで、データを活用



コンプライアンスの確保と
将来を見据えた経営

グローバル企業の83%が、CDPを通じてIFRS S2準拠データポイントの大半を報告



上流段階の影響を設定・
測定・対応

CDP経由で報告する企業の15%が
サプライヤーの実排出量に基づくスコープ3目標を設定



投資収益率を最大化する

サプライチェーンの気候関連リスクに対応した場合、1060億米ドル以上のコスト削減効果が期待される



サプライヤーエンゲージ
メントの強化

CDPサプライチェーンを通じて2023年に報告された、バイヤーとの取り組みによる削減効果は43MtCO₂e



強力なデータツール

CDPのサプライチェーンプログラムは、パフォーマンスのトラッキング、開示要件の達成将来を見据えた事業戦略を支援するデータセットと分析ツールを提供します

全回答データセット

すべての環境課題にわたる要請先全サプライヤーの回答を、完全に抽出。最も詳細な分析を実現します。

環境メトリックス・データセット

サプライチェーン全体の主要環境指標を一目で把握。スコープ1、2、3排出量、目標値、再生可能エネルギー利用率、リスク管理手法などを網羅。

スコープ3レポート

排出原単位、5年間のセクター排出量平均、統合対応出力など、現実世界のサプライヤー排出データをスコープ3インベントリに統合します。

気候ステージ評価ツール(CSET)

CSETは、サプライヤーを成熟度レベル(初心者、中級者、上級者)で分類し、エンゲージメント戦略をカスタマイズするのに役立ちます。



サポート内容



アカウント・マネジメント

サプライヤーエンゲージメントや購買プロセスへの主要指標組み込みなどの戦略的支援、CDPの専門知識を用いたトレーニングを提供。



サプライヤー支援

初回開示企業向けリソース、ウェビナー、トレーニング、イベント、ベストプラクティスの共有、専用ヘルプセンター、資金調達へのアクセス、世界的に認知されたスコアを提供



革新的なデータ提供

費用対効果の高いデータと分析ツールにより、サステナビリティ活動の最適化、コスト削減、事業パフォーマンス向上を支援。

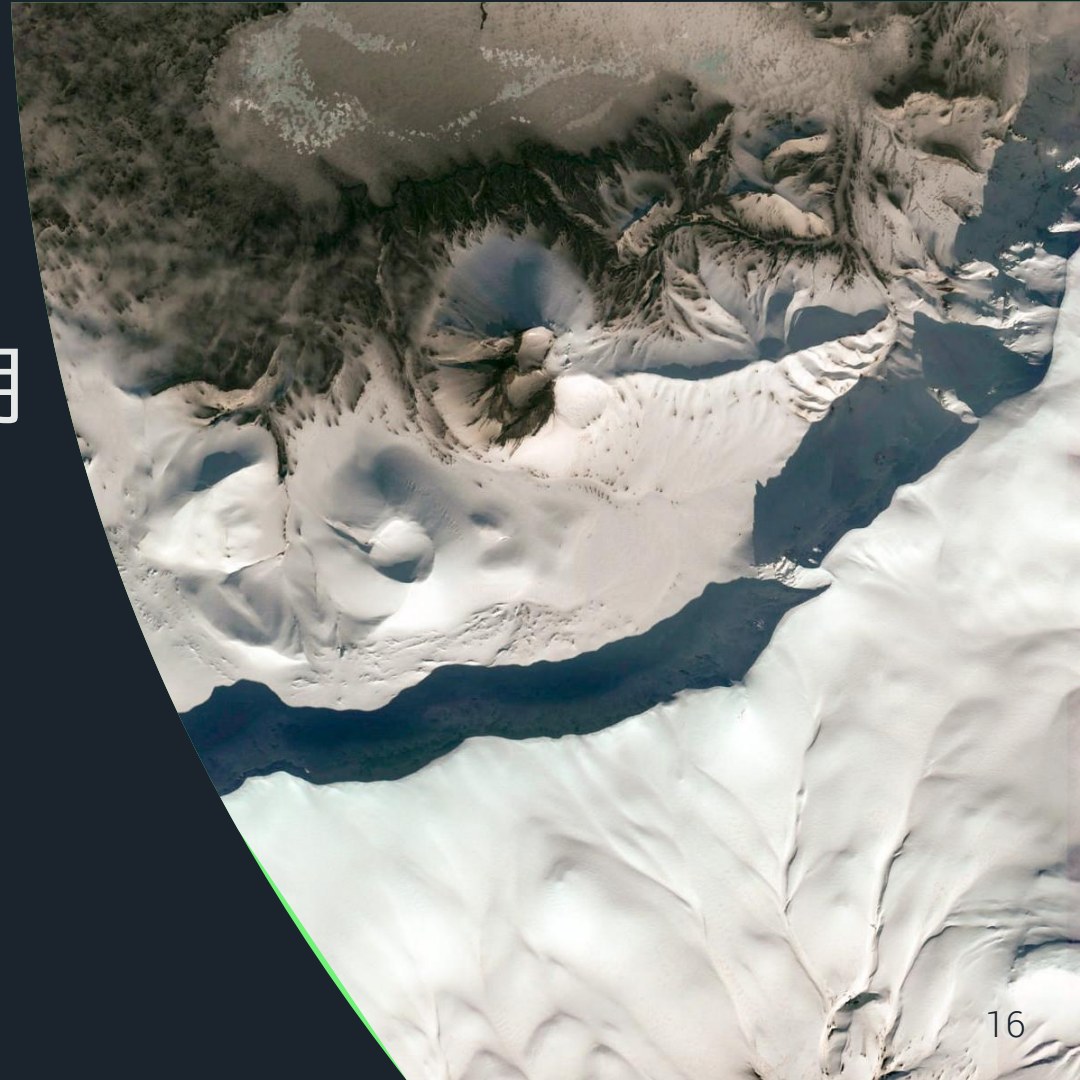


会員限定特典

ウェビナー、ワーキンググループ、業界専門家との対面イベントへのアクセス、プロモーション機会。

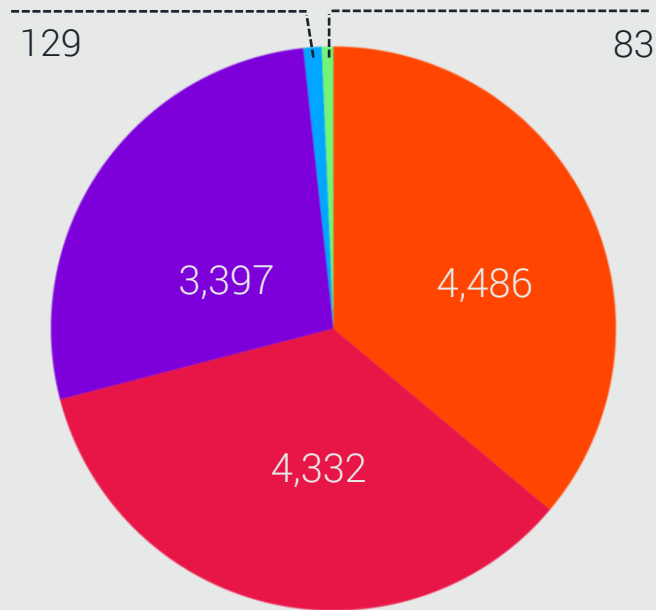


3. CDPサプライチェーン メンバーシップの活用



グローバル基準のサプライヤー・キャパシティビルディング

- ▼ ISSB/ESRS/TNFD等に整合した質問項目
- ▼ 中小企業のリソースに沿ったSME質問書
- ▼ ベストプラクティスを反映したスコアリング基準
- ▼ スコアリング対象言語:日本語・英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語
- ▼ 複数の購買企業からのエンゲージメント
- ▼ Tier 2, Tier 3サプライヤーへの広がり
- ▼ 世界のCDP地域オフィス・パートナーによるサポート



地域別SME質問書回答企業数(2024)

Europe Asia Americas Oceania Africa



サプライヤー向けグループトレーニング

CDPサプライチェーンメンバーシップでは、要請を受けたサプライヤー専用、および自社調達チーム向けに、CDP質問書に関するグループトレーニングを提供しています

トレーニングでは、CDPポータル、質問書、主要テーマなどの内容を通じて、環境情報開示に関するサプライヤーの理解を深め、自社調達チームやサステナビリティ部門によるサプライヤー・エンゲージメントの質的向上を目的としています

2025年実施例

日時	グループトレーニング内容
6/7	調達チーム向けグループトレーニング
6/10	CDP2025年開示サイクルのご紹介
6/27	SME版質問書
7/11	気候変動
7/4	排出量算定 *認定パートナーによる講習
7/22	ウォーター
8/8	フォレスト



包括的で比較可能なサプライヤー環境データ

- ▼ 購買企業の戦略にとって重要な、サプライヤーのKPIを任意に設定
- ▼ 気候変動とネイチャー分野をカバー

全回答データセット

環境メトリックス・
データセット

最優先サプライヤーに対しては、環境管理を弊社のサステナビリティ・スコアカードに組み込み、継続的な業績評価に反映しています。温室効果ガス排出量、エネルギーおよび再生可能エネルギーの使用量、水の消費量などの定量的な影響を評価するために、サプライヤーのCDP回答データを使用しています。また、回答の透明性、科学に基づく意欲的な気候変動目標、フットプリントの検証、ウォーター・スチュワードシップなど、サプライヤーの定性的な環境管理についてもCDPを活用しています。

HP Inc.



スコープ3の削減

- ▼ サプライヤーが報告した排出量の確からしさの確認
(第三者検証の有無、セクター別排出原単位との比較)
- ▼ CDPのグローバルなサプライヤー排出量データベースに基づく、最新のセクター別排出原単位

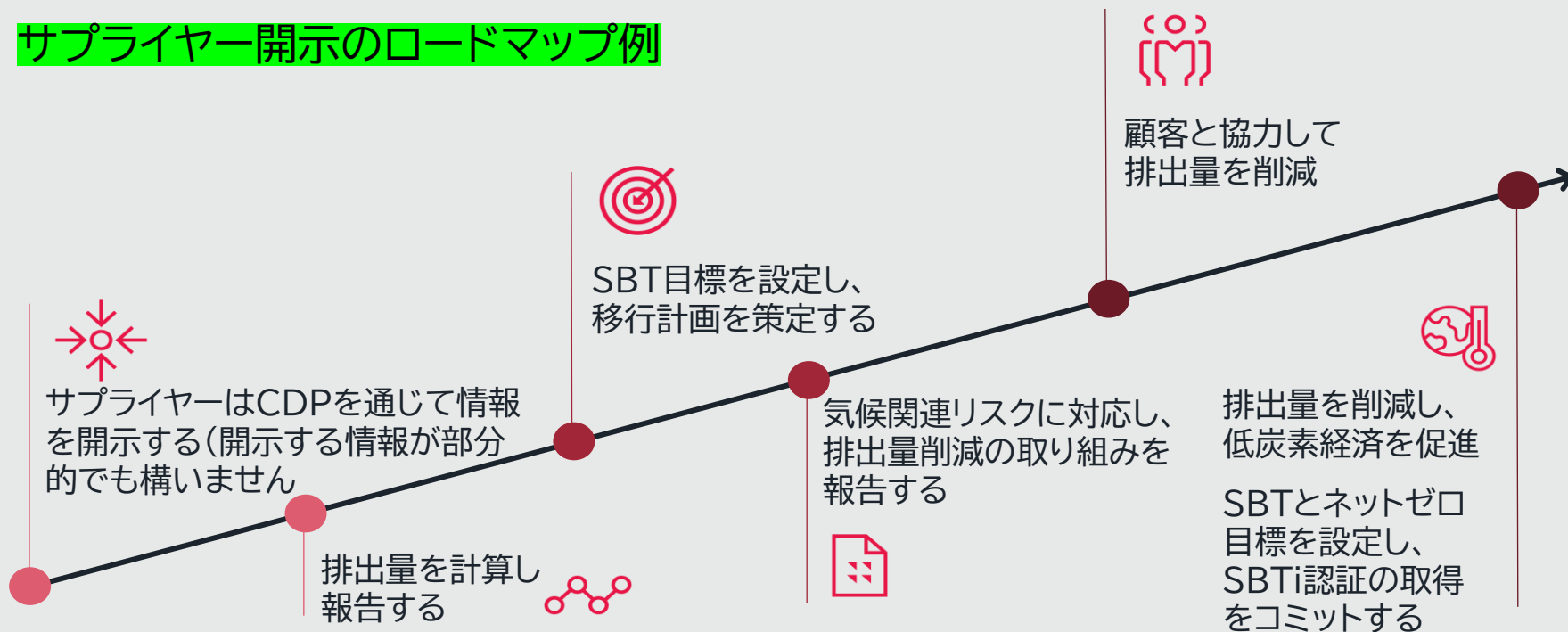
⇒ 一次データ+現実的な二次データにより、実態を表すスコープ3算定へ



アクションを促す開示



サプライヤー開示のロードマップ例



フェーズ1:基盤の確立

フェーズ2:能力構築

フェーズ3:パフォーマンスの向上

アクションを促す開示

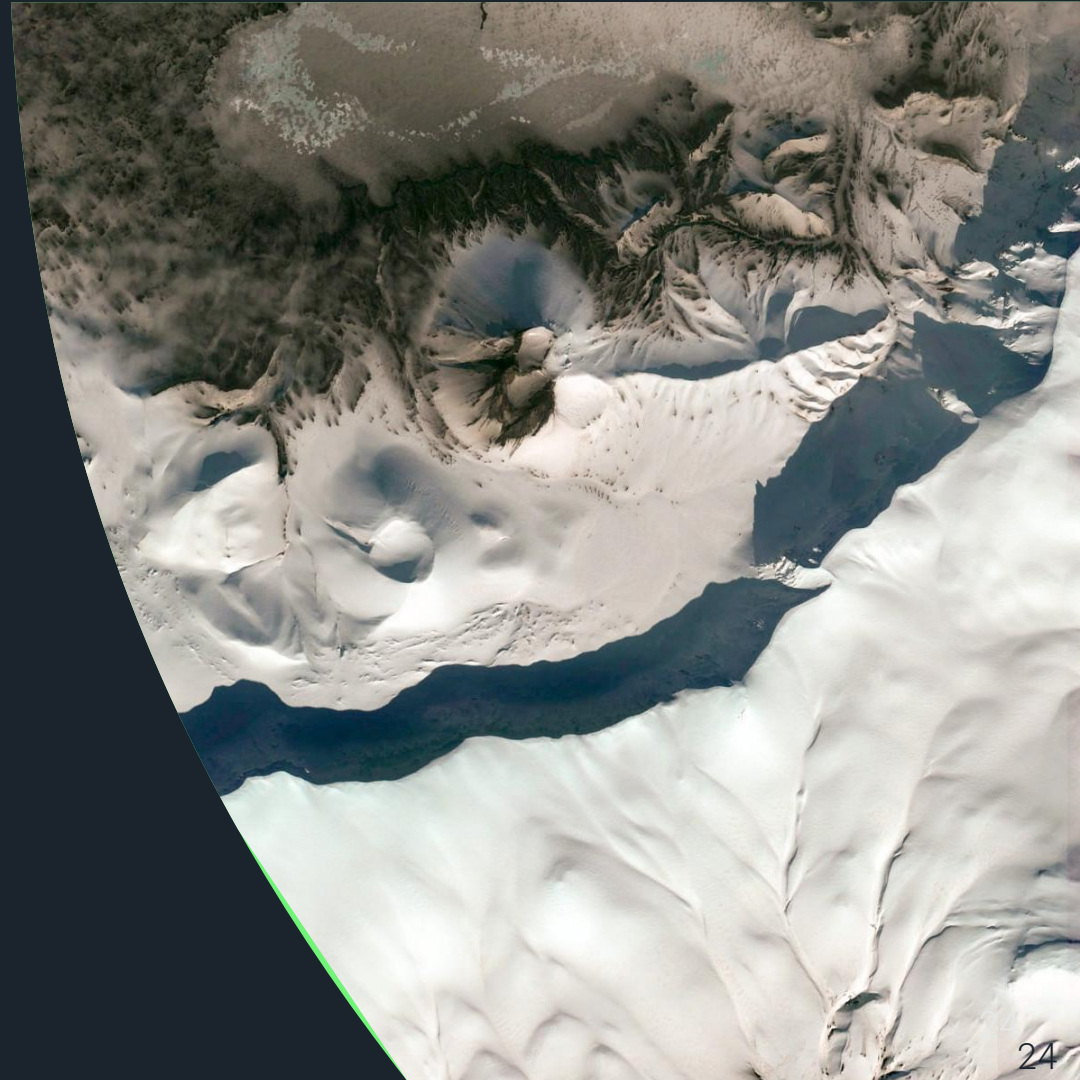
気候ステージ評価
ツール(CSET)

▼ サプライヤーごとに気候変動分野における成熟度をはかりエンゲージメントに活用

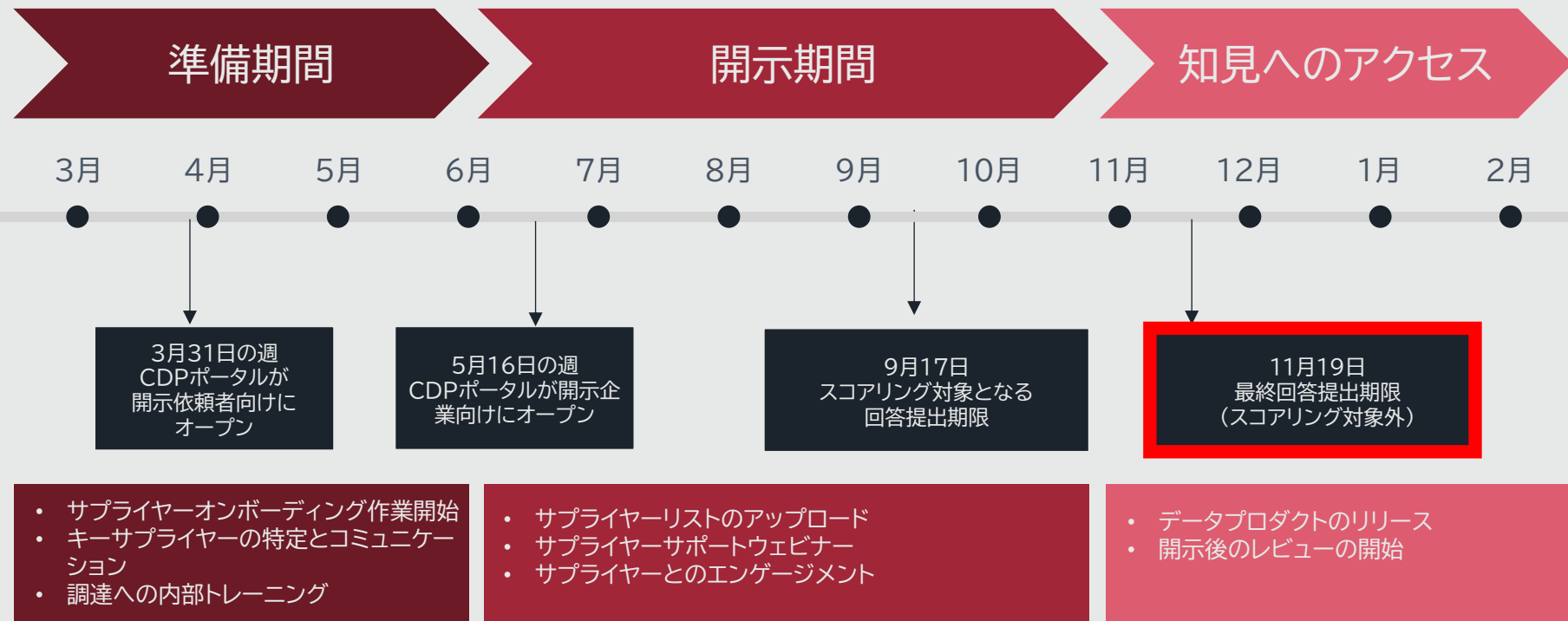
成熟度		CDP質問書回答項目
ステージ1	Beginner	CDP質問書に回答
ステージ2	Developing	スコープ1, 2/再エネ使用割合/削減目標
ステージ3	Mature	スコープ3カテゴリ1/排出削減活動/ SBT設定にコミット/リスク分析 など
ステージ4	Best practice	スコープ1, 2検証/サプライヤーエンゲージメント/ SBT認定 など
ステージ5	Leader	再エネ目標/1.5°Cに整合した移行計画 など



4. Q&A



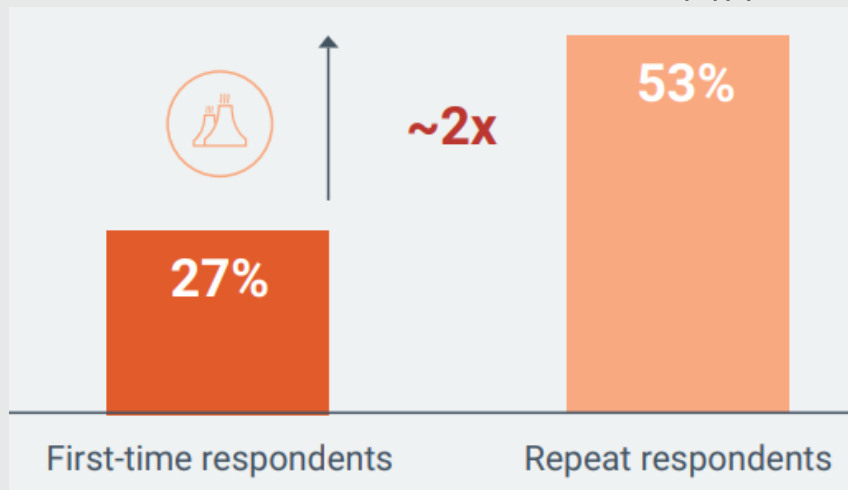
Q. サプライヤーへの質問書送付とデータ入手のスケジュール



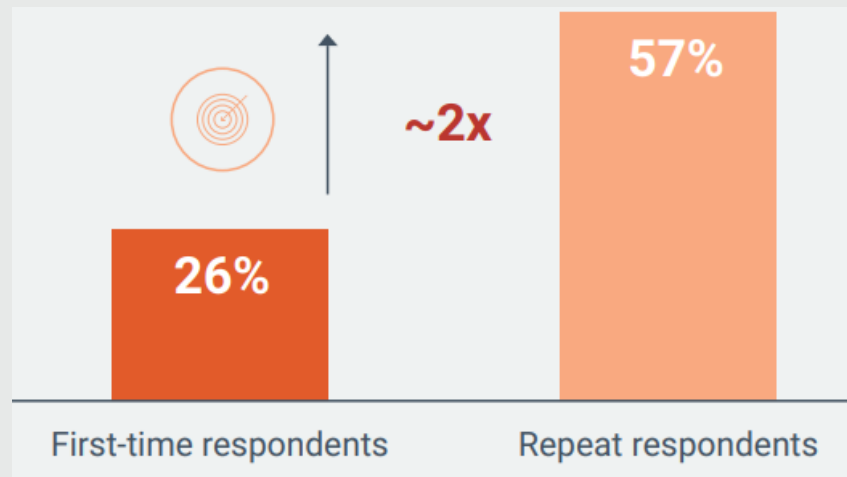
Q. なかなかサプライヤーに取り組んでももらいづらい

継続して働きかけることで、サプライヤーの取り組みが向上

スコープ3のいずれかのカテゴリーを回答



排出削減目標を回答



(参照: Scoping Out: Tracking Nature Across the Supply Chain - Global Supply Chain Report 2022)

複数の購買企業からの開示要請を受けることで回答率も向上している



サプライチェーンの透明性と レジリエンスを推進するビジ ネスリーダーのグローバルネ ットワークの一員になってく ださい

270以上のサプライチェーンメンバーからなる強
力なネットワークに参加し、CDPを活用してサブ
プライチェーンリスクを管理し、機会を創出し、より
効率的な調達戦略を推進しましょう



【参考リンク】

イベント

- [CDP2025情報開示ウェビナー](#)
- [2025環境情報開示シンポジウム](#) [CDP2024年回答結果分析報告会](#)
- レポート「[情報開示がもたらす利益](#)」
- [CDPサプライチェーン・メンバーシップ](#)

CDPの最新情報を入手する：[ぜひニュースレターにご登録ください](#)



CDP Worldwide-Japan

Address: 東京都千代田区丸の内2-5-1
丸の内二丁目ビル7階

<https://cdp.net/ja> (日本語サイト)

お問い合わせ:
relationship.japan@cdp.net

